

2024年10月1日

**2025年のスギ・ヒノキ花粉はどうか？ウェザーニューズ「第一回花粉飛散傾向」を発表  
花粉飛散量は西・東日本で平年を上回り、西日本では過去10年で最多に匹敵か  
～高温・多照で雄花の生長に適した夏 京阪神では前年比4倍超、香川県では前年比8倍超の予想～**

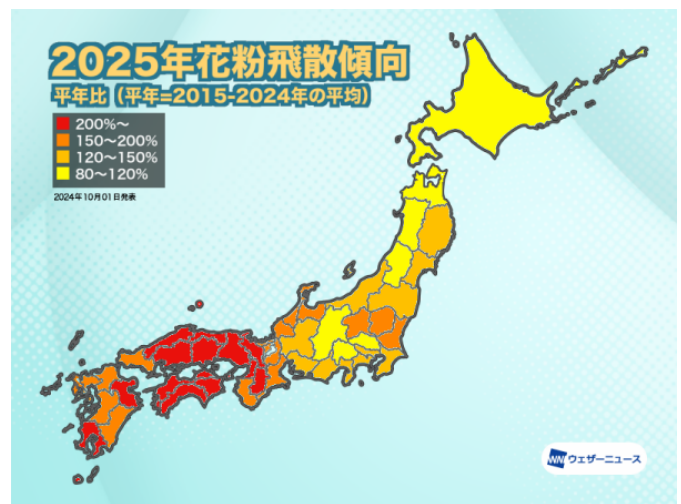
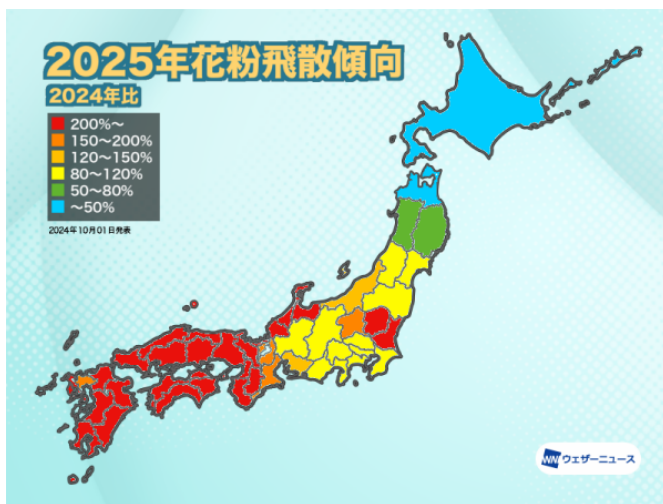
株式会社ウェザーニューズ(本社:千葉市美浜区、代表取締役社長:石橋 知博)は、2025年春の花粉シーズンに向け、「第一回花粉飛散傾向」(スギ・ヒノキ、北海道はシラカバ)を発表しました。2025年春の花粉の飛散量は西日本と東日本で平年を上回る予想で、特に西日本では過去10年で最も多いか、それに匹敵する飛散量になる予想です。

花粉の飛散量は前年夏の天候と年ごとの飛散量の増減傾向をもとに予想しています。今年の夏は広範囲で平年より日照時間が多く、全国的に気温がかなり高かったため、花粉の発生源となる雄花の生長に適した天候となりました。このため、飛散量が多くなる「表年」傾向の西日本や北陸、関東北部では、前年比で大幅に飛散量が増えて、特に西日本では大量飛散となるおそれがあります。例年以上の万全な対策が必要です。また、飛散量が少なくなる「裏年」傾向の北海道や東北北部でも平年並の飛散量を予想しているため、油断せずに対策をしっかりと行ってください。

なお、次回の「第二回花粉飛散傾向」は12月上旬の発表を予定しています。

本プレスリリースの素材のダウンロード	「第一回花粉飛散傾向」の一般向けサイト
ウェブ版プレスリリース「第一回花粉飛散傾向」 <a href="https://jp.weathernews.com/news/49034/">https://jp.weathernews.com/news/49034/</a>	ウェザーニューズウェブサイト「第一回花粉飛散傾向」 <a href="https://weathernews.jp/s/topics/202409/300075/">https://weathernews.jp/s/topics/202409/300075/</a>

#### ◆ 2025年「第一回花粉飛散傾向」



＜飛散量:西・東日本で平年を上回る予想、西日本は過去10年で最多に匹敵する大量飛散のおそれ＞

2025年春の花粉飛散量は、西日本や北陸、関東北部で2024年を大きく上回り、北日本では下回る地域が多い予想です。西日本では2024年の飛散量が非常に少なかったため、2024年比で800%を超える地域も出てくる見込みで、過去10年で最も多いか、それに匹敵する飛散量になる予想です。一方、東北北部

や北海道では 2024 年の飛散量が多かったため、2024 年比で 50%を下回る地域がある予想です。関東南部や甲信、東海の一部では 2024 年並の飛散量と予想しています。全国平均では 2024 年比 167%となる予想です。

平年(2015~2024 年の平均飛散量)と比べると、西日本・東日本では平年を上回る地域が多く、特に西日本では 200%を超える地域もあります。北日本は平年並の地域が多い予想です。全国平均では平年比 166%となる予想です。

### <飛散量予想の根拠:2024 年夏の天候と年ごとの増減傾向>

花粉の飛散量予想は、主に前年の夏の天候と年ごとの飛散量の増減傾向を基に算出しています。2025 年の飛散量予想の背景は以下の通りです。

#### ～広範囲で多照かつ記録的な暑さで、雄花の生長に適した夏～

前年の夏に十分な日照があり気温が上がるほど光合成が盛んになり、花粉の発生源となる雄花の生長が促される傾向があります。

2024 年の夏は日本付近で高気圧の勢力が強まる日が多くなったことで、広範囲で平年より日照時間が多く、全国的に気温はかなり高くなりました。ただ、北日本の日本海側では 7 月から 8 月上旬にかけて低気圧や前線の影響を受ける日が多く、日照時間が平年をやや下回る地域がありました。2024 年夏の天候は、西日本や東日本、北日本の太平洋側では雄花の生長には非常に適した天候となり、北日本日本海側でも平年並の生長が見込まれる天候だったとみています。

#### ～西日本や北陸、関東北部で「表年」、北海道や東北北部で「裏年」傾向～

花粉の飛散量は周期的に増減し、花粉の飛散が多い年と少ない年が交互に訪れる傾向があります。飛散量が多い年を「表年」、少ない年を「裏年」と呼びます。エリアによって増減の周期は異なり、「表年」「裏年」も異なります。夏の天候等の影響で「表年」「裏年」の区別が不明確になる年もあります。

2024 年は西日本や北陸、関東北部で飛散量が前年よりも少なくなったため、2025 年は飛散量が増える「表年」となると予想しています。特に減少幅が大きかった西日本では 2025 年は「表年」の傾向が強くとみています。一方、北海道や東北北部は 2024 年の飛散量が前年・平年よりも多くなったため、2025 年は「裏年」の傾向が強くなり、飛散量が減る見込みです。関東南部や東海の 2024 年の飛散量は天候の影響を受けて表年・裏年が明確には現れませんでした。そのため、2025 年も表年・裏年の影響は小さいとみています。

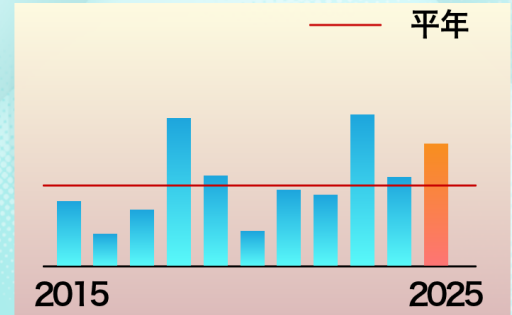


### 関東・山梨:高温・多照の夏 飛散量は平年を上回る予想

2024 年の夏は高気圧が強まる日が多く暖かい空気に覆われて、気温は平年に比べてかなり高くなりました。日照時間も平年を上回り、花粉の雄花の生長に適した天候となりました。また、2024 年の花粉の飛散量は前年を下回り、特に北部では減少幅が大きくなりました。一方南部の飛散量は前年をやや下回ったものの表年・裏年の傾向は明瞭ではなく、平年を上回る飛散量でした。

2025 年春の花粉の飛散量は前年の 138%、平年の 151%となる予想で、特に北部を中心に前年の反動で飛散量が多くなる見込みです。北部では前年・平年を上回る飛散量となる一方、南部では前年並ではあるものの平年を上回る飛散量となる予想です。晴れて風の強い日には大量の花粉が飛散するため、しっかりと花粉対策をしてください。

#### 花粉の本格飛散予想 関東・山梨

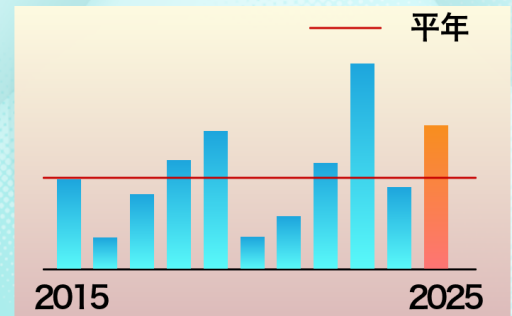


### 北陸・長野:高温・多照の夏 「表年」傾向で飛散量は大幅増

2024 年の夏は暖かい空気に覆われて、気温は平年に比べてかなり高くなりました。日照時間も平年を上回ったところが多く、花粉の雄花の生長に適した天候となりました。また、2024 年の飛散量は前年、平年を下回ったところが多くなりました。このため 2025 年は飛散量が多くなる「表年」になると見込んでいます。

2025 年春の花粉の飛散量は前年の 176%、平年の 156%となる予想です。前年よりも飛散量が大幅に増加するとみています。特に晴れて風の強い日には大量の花粉が飛散するため、しっかりと花粉対策をしてください。なお、北陸エリアではスギ花粉の飛散が中心で、ヒノキ花粉の飛散は比較的少ない傾向です。

#### 花粉の本格飛散予想 北陸・長野

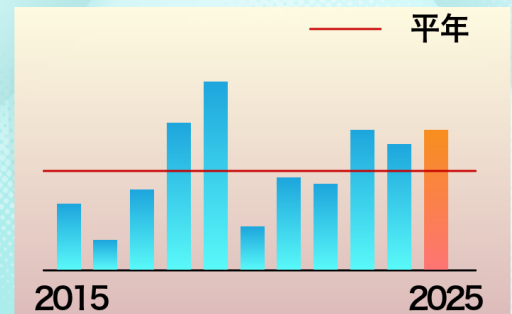


### 東海:高温・多照の夏 飛散量は平年を上回る予想

2024 年の夏は高気圧が強まる日が多く暖かい空気に覆われて、気温は平年に比べてかなり高くなりました。日照時間も平年よりかなり多く、花粉の雄花の生長に適した天候となりました。また、2024 年の飛散量は三重県で前年を大きく下回ったものの、その他のエリアでは概ね前年並でした。過去の飛散傾向と夏の気象条件から 2025 年は前年の飛散量を上回る県とやや下回る県が混在し、全体としては前年の飛散量をやや上回ると見込んでいます。

2025 年春の花粉の飛散量は前年の 112%、平年の 140%となる予想です。特に晴れて風の強い日には大量の花粉が飛散するため、しっかりと花粉対策をしてください。

#### 花粉の本格飛散予想 東海

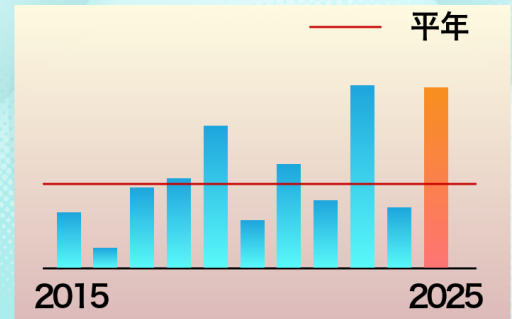


### 近畿: 過去 10 年で最多に匹敵する大量飛散のおそれ

2024 年の夏は高気圧が強まる日が多く暖かい空気に覆われて、気温は平年に比べてかなり高くなりました。日照時間も平年よりかなり多く、花粉の雄花の生長に適した天候となりました。また、2024 年の飛散量は前年を大きく下回り、平年と比べても下回る地域が多くなりました。このため、2025 年は飛散量が多くなる「表年」と見込んでいます。

2025 年春の飛散量は前年の 302%、平年の 213%となる予想です。特に京阪神エリアでは前年の飛散量が平年の半分程度と少なくなったため、前年比で 400%超、平年比で 200%超となり、過去 10 年で最も多いか、それに匹敵する飛散量になる予想です。その他の地域でも飛散量は多くなる予想なので例年以上に対策を万全に行ってください。特に晴れて風が強い日は大量の花粉が飛散するため、より一層の対策をするようにしてください。

### 花粉の本格飛散予想 近畿

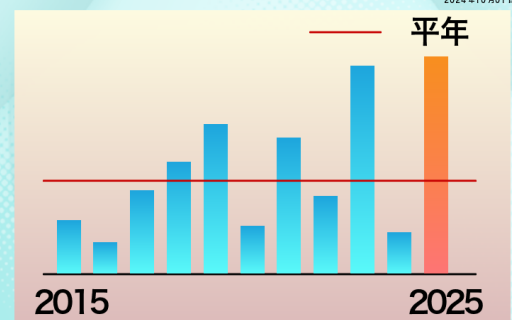


### 中国・四国: 過去 10 年で最多に匹敵する大量飛散のおそれ

2024 年の夏は高気圧が強まる日が多く暖かい空気に覆われて、気温は平年に比べてかなり高くなりました。日照時間も平年よりかなり多く、花粉の雄花の生長に適した天候となりました。また、2024 年の飛散量は前年、平年を大きく下回りました。このため、2025 年は飛散量が多くなる「表年」と見込んでいます。

2025 年春の飛散量は前年の 527%、平年の 232%となり、過去 10 年で最も多いか、それに匹敵する予想です。特に瀬戸内地域では前年の飛散量が非常に少なくなったため、前年比で 500%を上回り、800%を超える地域もある予想です。その他の地域でも飛散量が非常に多くなる予想なので例年以上に対策を万全に行ってください。特に晴れて風が強い日は大量の花粉が飛散するため、より一層の対策をするようにしてください。

### 花粉の本格飛散予想 中国・四国

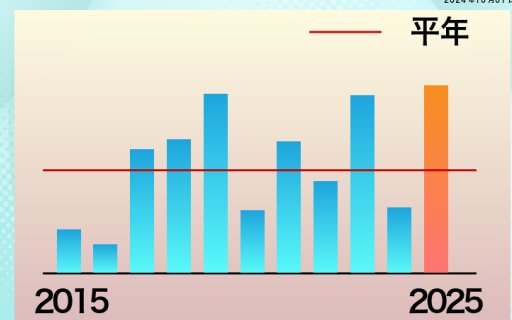


### 九州: 過去 10 年で最多に匹敵する大量飛散のおそれ

2024 年の夏は高気圧が強まる日が多く暖かい空気に覆われて、気温は平年に比べてかなり高くなりました。日照時間も平年よりかなり多く、花粉の雄花の生長に適した天候となりました。また、2024 年の飛散量は前年、平年を大きく下回りました。このため、2025 年は飛散量が多くなる「表年」と見込んでいます。

2025 年春の飛散量は前年の 287%、平年の 181%となり、過去 10 年で最も多いか、それに匹敵する可能性があります。前年比では 400%、平年比でも 200%を超える地域もある予想です。例年以上に万全な対策を行ってください。特に晴れて風が強い日は大量の花粉が飛散するため、より一層の対策をするようにしてください。

### 花粉の本格飛散予想 九州



**◆ 都道府県別の 2025 年花粉飛散傾向**

エリア	都道府県	花粉飛散量 (前年比: %)	花粉飛散量 (平年比: %)
北海道	北海道	48	84
東北北部	青森県	46	92
	岩手県	74	146
	秋田県	67	101
東北南部	宮城県	82	134
	山形県	88	100
	福島県	114	141
関東・山梨	茨城県	243	187
	栃木県	215	198
	群馬県	181	181
	埼玉県	113	115
	千葉県	103	120
	東京都	90	122
	神奈川県	91	127
	山梨県	95	119
北陸・長野	長野県	117	119
	新潟県	136	142
	富山県	208	172
	石川県	272	175
	福井県	201	178
東海	静岡県	91	129
	愛知県	139	136
	岐阜県	95	136
	三重県	150	164
近畿	滋賀県	159	167
	京都府	471	236
	大阪府	472	216
	兵庫県	453	250
	奈良県	267	238
	和歌山県	208	164
中国・四国	岡山県	538	243
	広島県	690	256
	鳥取県	480	264
	島根県	349	223
	山口県	382	178
	徳島県	663	253
	香川県	850	244
	愛媛県	587	217
九州	高知県	440	208
	福岡県	247	151
	佐賀県	189	168
	長崎県	218	177
	大分県	410	205
	熊本県	353	179
	宮崎県	340	187
鹿児島県	342	201	
全国		167	166

※ 平年:天候の平年は 1991～2020 年の過去 30 年平均、花粉飛散量の平年は 2015～2024 年の過去 10 年平均

※ 飛散量:花粉観測機「ポールンロボ」が観測すると想定される花粉数。過去のポールンロボの観測データをもとに予想を算出

◆ 参考: ウェザーニュースの花粉飛散傾向と観測網について

本プレスリリースでは、これまで「花粉プロジェクト」で蓄積してきた花粉の観測データ、年ごとの飛散量傾向、今夏の天候をもとに来シーズンの花粉飛散傾向を発表しています。また、11月に全国のウェザーニュースアプリのユーザーと花粉の雄花の生長状況を調査する「雄花調査」を実施し、必要に応じて飛散量予想を更新する予定です。なお、「第二回花粉飛散傾向」は、飛散量予想に加えて飛散開始時期や飛散ピークについてまとめ、12月上旬に発表予定です。

ウェザーニュースの「花粉プロジェクト」は、花粉症の方々の役に立ちたい!という想いで、2005年から実施しているユーザー参加型の取り組みです。全国のご家庭や企業などに、独自開発した花粉観測機「ポールンロボ」を約1,000台設置し、空気中に含まれる花粉をリアルタイムに観測します。

ウェザーニュースは、「花粉プロジェクト」の取り組みや花粉飛散傾向の発表、ウェザーニュース「花粉 Ch.」での情報発信などを通じて、花粉症の方が少しでも楽に過ごせるよう、サポートを続けてまいります。



花粉観測機「ポールンロボ」設置イメージ